



朝一番のにぎわいを見せる8時20分ごろの改札口。以前に比べると人数が少なくなった

高校生や出勤者で にぎわう朝8時20分

朝8時20分ごろになると上り、下りの普通電車が到着。カバンを手にした制服姿の高校生や出勤する人たちが根雨駅に降りてきます。その光景は、以前に比べると人数が少なくなりりましたが、今も朝夕繰り返されています。

日野町には、根雨と黒坂に日野高等学校の校舎があります。今では町外から通う生徒が多く、そのほとんどが通学に電車を利用しています。電車は、生徒たちにとっても大切な交通手段となっています。

特急14本と 普通電車24本が運行

現在、JR根雨駅では、上り、下り線を合わせると、14本の特急と24本の普通電車が朝7時前から夜の11時過ぎまで運行され、人々の交通手段として利用されています。

米子・岡山間には32の駅があり、そのうち特急「やくも号」が停車するのは、岡山駅と米子駅を含めて7駅。鳥取県側の停車駅は、生山、根雨、米子駅の3駅。根雨駅は特急

が止まる数少ない駅の一つで、県内外の交通促進の拠点として、とても重要な駅だということが言えます。

JRの高速化 速く・快適・便利に

伯備線は、昭和33年から急行列車の運行を開始。昭和47年4月から「特急おき」、その翌年にはディーゼル機関車が登場。昭和57年7月には電化開業され、特急電車「やくも号」が運行開始。根雨・岡山間の到着時間は、従来に比べて大幅に短縮されました。

今年の10月には、JRの高速化が実現。鳥取県と島根県が高速鉄道で結ばれ、山陰が一つになりました。鳥取と米子間は、最速56分になるなど利便性・快適性が大幅に向上し、地域の活性化に期待されています。



電化により活気づく昭和57年